



# ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

## 新年あけまして おめでとうございます

人々皆が心を寄せ合い、思いやりが溢れる世の中で、これからの子どもたちの成長を見守って  
いける年の始まりとなればと強く思っています。

1月13日は「成人の日」で、相生市でも「20歳の集い」として、新しく20歳を迎えた若者を祝う式典が  
あります。また、1月17日は、6434人が犠牲になった、阪神・淡路大震災から30年目を迎えます。  
そのどちらにも関わる話を紹介します。

右の文は、阪神大震災で神戸大生だった一人息子を亡くした加藤りつこさん＝広島市安佐北区＝を支えてきたのが、生前息子が残した、母親への手紙です。

国連職員を目指していたりつこさんの長男、貴光さん＝当時(21)＝は、神戸大法学部2年だった平成7年1月、下宿先の兵庫県西宮市のマンションが全壊し、亡くなった。一人息子を失ったりつこさんを支えてきたのが、入学式直前の5年4月、下宿先を訪ねたりつこさんのコートに、貴光さんがそっとしのばせた手紙だった。

### 親愛なる母上様

あなたが私に生命を与えてくださってから

早いものでもう20年になります

これまでに ほんのひとときとして

あなたの優しく 温かく 大きく

そして強い愛を感じなかったことはありませんでした

私はあなたから多くの羽根をいただいてきました

人を愛すること 自分を戒めること 人に愛されること

この20年で 私の翼には立派な羽根がそろってゆきました

そして今 私はこの翼で大空へ翔(と)び立とうとしています

手紙に、ミュージシャン、奥野勝利さん＝兵庫県姫路市夢前町＝が曲をつけた「親愛なる母上様」を右のQRコードから聞いてみてください。この曲を通じた新たな出会いが今のりつこさんの支えとなっている。「息子が残してくれた手紙をきっかけに、多くの出会いがあった」、と。



## 東井義雄 いのちの言葉<1月> ～『東井義雄一日一言』(致知出版社)より～

生きて  
健康で  
手が動く  
目が見える  
このあたり  
ただごと  
しあわせ

### しあわせ

生きていくということは、少なくとも、わたしたちが気が付いているくらい、当たり前のことではないようだ。生きていくというただ事ではない底深さ、根深さは、たとえ感傷的でもいい、知っていく必要がある。

### 生きているということ

とんぼや蟬のあの脱皮の姿一つ見ても、拝みたくなる程ひたむきで荘厳な生まれるための必死の願いを見ることが出来ます。  
人間もそういういのちの願いにもよおされて生まれ難い人間に生まれて生きているのです。

### 必死の願い

「この世に生んでと望みもしないのに」と、近頃の若者は言つて、自分で自分を粗末にしているようですが、ひとつの生命の誕生ということは、たいへんな願いと意志と、力の結果だというのが真実でしょう。  
「望みもしない」どころか必死に望まれて生まれてきた私たちではないでしょうか。

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッチ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

私が小学校で講演した後、小学5年生の男の子から電話が掛かってきました。彼は、「今日、安永さんは、『チクるのは相談する』という勇気のある行動』って言ったよね」と言って、彼のクラスで起きている万引きのことを話してくれました。その子のクラスでは、遊び感覚での万引きが流行っていました。やっではないのはどうとう彼だけになり、学校でいつも友達から責められていたそうです。『早く盗って来い。いい子ぶりやがって。弱虫、卑きよう者』と。でも彼は絶対にやりたくなくて私に電話してきたのです。私はすぐに学校に連絡しました。その後、学校から連絡が行き、お母さんたちはしっかりとわが子を叱り、抱きしめ、褒めました。

▼◇■□◆△  
私は彼に聞きました。「どうして君は最後まで万引きしなかったの？すごいね。よく頑張ったね。君はヒーローだよ」すると彼は、「僕も一度だけスパーに消しゴムを盗りに行ったことがある。一度盗んでしまえば友達から責められなくなる。だから僕は一番小さい消しゴムに手を伸ばした」と言うのです。でもその時、彼の目に浮かんだものがありました。それはお母さんの顔でした。その時のお母さんの顔は、怒った怖い顔ではなく、今にも泣きそうな悲しい顔でした。「こんなことしちゃダメだ。お母さんが泣いてしまう」と思った彼は、何も盗らず逃げ帰ったそうです。かれが万引きをせずに踏みとどまり、周りの友達に責められても自分を守れたのは、あの子の心の中に、「この人だけは裏切れない。この人だけは悲しませられない」という人がいたからです。そして、「自分は愛されている」という自尊心があったからです。

▼◇■□◆△  
私は、親子で一緒に聴く講演会でまず親に聞きます。「皆さんは、わが子のお守りになれていますか？」すると、ほとんどのお父さんお母さんが手を挙げます。次に子どもに聞きます。「お守りを持っている人？」って。どこの学校でも手を挙げるのは数人です。その様子を、親御さんが後ろから少し悲しそうな表情で見えています。親御さんたちがあまりにかわいそうなので子どもたちに言うのです。「振り返ってお父さんお母さんを見てごらん。とても残念そうな顔をしているよ」と。講演の後、こんな感想文がありました。「安永さんがお守りのことを聞いた時、私は手を挙げませんでした。お母さんの顔が浮かぶかどうか分からなかったからです。お母さんの悲しい顔も思い描こうとしたけれど、思い浮かぶのはお母さんの怒った顔だけでした。でも今日後ろを振り返るとお母さんが悲しい顔をしていたので、次聞かれた時は手を挙げようと思いました」私も「他人事じゃないな」と思ったので家に帰って息子に聞きました。「お母さんの悲しい顔とか笑顔が浮かぶやろ？」って。息子たちは黙っていました。だから私は言いました。「分かった。じゃあ今日からお母さんは、あなたたちのお守りになるけん、悪いことの一線を越えようとした時は、お母さんの悲しい顔を思い浮かべてね」と真剣な顔で言いました。すると、子ども達は二人とも真剣な顔で言ってくれました。「分かった。お母さんをお守りにしてやる」と(笑)。

(2010年2月15日号より)

<日本講演新聞 「未来へ過去を転載して」より>

## 第44回 相生市青少年健全育成市民大会

1 日時 令和7年1月26日(日) 午後1時00分～午後3時20分

2 場所 相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール

3 主な内容

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| (1) さわやかあいさつ運動表彰    | 相生警察署長                |
| (2) 「相生における少年非行の概況」 | 市内小中学校いじめ防止サミット委員会    |
| (3) 「いじめ防止サミット」の報告  | 相生小、那波小児童代表           |
| (4) 子どもたちのメッセージ     | 「自信とやる気を引き出すプラスの問いかけ」 |
| (5) 記念講演            | 講師 長谷川 満 氏            |